

市民と市長との対話集会会議録【要旨】

※生成 AI による要約を行なっています。

令和 7 年 2 月 13 日 ふくおか区長会

司会

令和 6 年度市民と市長との対話集会を開催する。本日は気楽に意見が交わせる雰囲気大切に、自由に発言してほしい。最初に、福岡区長会の会長から挨拶をお願いする。

区長会長

市長に出席していただき感謝する。4 区の代表にも来ていただいております、それぞれのテーマについて意見をお聞きしたい。この対話集会が行政に生かされることを期待している。

市長

本日は多くの方に集まっていただき感謝する。市民との対話集会は昨年 4 月から始まり、33 回目を迎える。市内のさまざまな地域と団体から意見を聞き、これを市政に反映させていきたい。限られた時間で意見を交換したいと考えている。

司会

市長との貴重な機会を大切に、有意義な意見交換を行なっていきたい。発言は田瀬、下野、福岡、高山の順で進める。

参加者

田瀬地区での水源林を守る活動について報告する。水源の確保や環境保護を目的とする活動には地元の小学生も参加している。今後の課題として会員の減少と獣害問題がある。地域の環境意識を高める教育が必要だと考えている。

市長

水源林の保護について感謝する。地域と連携し活動を続けていく必要がある。樹種について専門家の助言を求めているほか、若い世代の参加を促進するために、さまざまな取り組みを検討していただきたい。

参加者

下野区には太陽光発電が多く建設されている。これにより居住環境が損なわれ、住民が不安を抱えている。生活環境への配慮が求められる。太陽光発電の推進と生活環境の両立が重要だと感じている。

市長

太陽光発電の問題は難しい。脱炭素社会の実現は大切だが、景観や生活環境への配慮も必要である。地域として取り組んでいただくとともに、何かあれば相談していただきたい。

参加者

福岡地区の柏原集落について報告する。限界集落の状況で、困難な課題を抱えている。特に交通手段や生活道路の改良が必要と感じている。

市長

市としても対策を考えていく必要がある。高齢化や買い物難民の問題に対して、コミュニティバスの運行の改善などを進めていく。

参加者

草刈や鳥獣害対策、教育などの取り組みが課題であり、地域の支援が必要だと思う。集落支援員が有効な場合もあると感じているが、具体的な効果があった事例があれば教えてほしい。

市長

集落支援員の活動事例について、成功例もある。地域の若者を巻き込みつつ、持続可能な地域づくりを進めていきたいと考えている。

参加者

高山地区では少子高齢化が進んでおり、役員不足が問題となっている。バス運行の見直しや、コミュニティの支援が求められている。

市長

役員の負担軽減について取り組んでいる。地域の声を反映させ、利用可能な交通手段を整備していく考えである。

参加者

リニア開業の影響について質問する。地域の発展に寄与することを期待しているが、いかに方向性を決めていくかに関心がある。

市長

リニアの開業は地域に大きな革命をもたらすと期待される。中津川の観光資源を生かし、人を呼び込む取り組みを進めていく必要がある。

参加者

大雪の影響で除雪対策が求められる。特に高齢者が生活困難になる状況について問題提起する。

市長

ご不便をおかけして申し訳ない。状況を確認したい。

司会

最後に市長から総括をお願いします。

市長

地域の皆さんとの対話を通じて課題を知ることができた。今後の施策に反映させていきたい。地域の方々と協力し、魅力あるまちづくりを進めていくため、今回のご意見を大切にしていく。

副会長

本日は市長をはじめ、多くの方々に参加いただき感謝する。これからもご支援をお願いしたい。ありがとうございました。